

財団からのお願い

―財団の活動充実と発展のために

維持会員の更新と新規入会をお願い致します―

(平成二十五～二十七年度分)

昨年の東日本大震災に続き、今年七月には、九州北部豪雨が起り、被災された皆様ならびにご家族に心よりお見舞いを申し上げます。

熊本の医学教育は、再春館の創設（一七五七年、宝暦七年）を起源に伝統ある歴史をもち、その歴史上において北里柴三郎をはじめとして多くの医師、医学者、教育者が育ち、国内外で大きな貢献をしてきました。その背景のもとに、肥後医

育振興会は、未来の医療を担う人材を多く育成することを理念として平成八年五月に設立されました。

肥後医育振興会は一昨年から公益法人として認められ、医療人育成、県民の健康増進、地域医療・医学の振興、医学研究助成事業（公募による若手研究者等への助成金支給）及び医学国際交流支援事業（公募による外国人留学生奨学金支給）、市民公開講座「肥後医育塾」の開

催、生活情報紙「あれんじ」の医学・医療関連記事の執筆及び監修、今後の熊本県における医療人育成の在り方を提言する「熊本県医療人育成総合会議」の開催

など、熊本から全国へ、世界へと飛躍する医療人の育成と医学情報の発信を行うために活動しています。

このような活動は、ご賛同いただいた皆様方の維持会費（賛助会費）や寄附金によつて運営されています。

お陰様で維持会員数は徐々に増加し、現在六一〇名程であり会員の皆様方には厚く御礼申し上げます。本財団の予算上の会員数は六〇〇名としており、何とかクリアしている状況です。今後とも皆様に次世代の医療を担う人材のために医

育助成がいただけましたら、本財団が安定した活動を継続できるものと信じています。

天災が続き、景気が低迷している中、

会員の皆様も、これらの社会情勢により、厳しい環境で努力されていることと拝察いたします。このような環境においても、私たちが医療人は、常に最高の医療を提供する責務があり、また、医師の育成と医学の発展に努力を継続しなければなりません。

さて、この維持会員制度は三年毎の更新制度になっており、来年度はその更新の年であります。つきましては、維持会員の先生方には、何とぞ引き続き維持会員としてご更新いただきまして、本財団へのご協力ご支援をお願い申し上げます。また、新しく維持会員として本財団の活動にご参画をお願い申し上げます。

熊本大学医学部OBの先生方、指導的役割の医師、研究者はもちろんのこと若手の医師諸氏も今後の本財団発展のために、是非お力添えをいただきたく切にお願い申し上げます。若手医師にとつて、年会費五千円は大変なご負担とは存じますが、医学部学生や研修医にも肥後医育振興会は援助をしております。本会とおして若手を育成し、肥後医育の伝統を継承することに貢献いただけましたら幸

いです。維持会員には、いつでも、どなた様でも申し込みいただけます。個人年会費一口五千円、団体一口三万円です。会員入会申込書は、本財団のホームページからダウンロードされるか、左記までご連絡をお願い申し上げます。

なお、本年から本財団の維持会費は、税務当局から税法上、寄附金として認められることになり、個人の所得税や住民税の税額控除について優遇措置を受けることができるようになりましたことを申し添えます。

詳細は、ニューズレター十七号に掲載しておりますので、ご参照下さい。

〒八六〇一〇八一 熊本市中央区本荘二二二ー 肥後医育記念館内
公益財団法人 肥後医育振興会
TEL&FAX 096-37315425

ホームページ
<http://www.119higo.com/>

E-mail
119higo@fc.kuh.kumamoto-u.ac.jp

財務担当理事 興柁 博次